

組織を離れ、一人の人間として自分の意志と責任で生きてゆく時を迎えました。自問自答しながらの出発でしたが、現実には予期しなかったことの連続で、それが新たな生き方を教えてくれました。私の高齢期、試行錯誤の一端をご紹介します。

1. 経験を活かす意味とは

事業改革や改善の経験を中小企業の支援を通して社会に役立てたい思いで企業塾を立ち上げました。

実際に取り組んでみると、年間8000件を超える倒産件数の中、危険水域にある企業の名乗りが無いのは意外でした。支援要請の多くは、業績を確保している企業でしたが、それでも将来の見通しが立てにくい会社もありました。それらの企業へ改革課題を提起すると、これも意外だったのは現状の改革脱皮に少なからず抵抗感があることです。

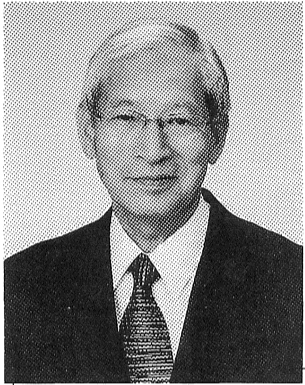
一例では、この7項目を改革すれば必ず浮上出来ることと確信し、説明を繰り返しましたが、いつもの忙しさに追われて反応は薄く、ついに最後の時を迎えてしまいました。長い不振から抜け出せない組織の傾向の一つでした。私の思いと力不足で存続できなかった企業のみならずへ申し訳ない悔いの重さが残ります。

セミナーや大学出講の際も、原則論、経験、マニュアルや持論の展開だったことを反省しています。これらの苦い体験を通して、主体は相手であり私ではない、当たり前のことを再認識して支援を再開しました。いま取り組み中の企業では全員の話を聴く、相手の良い考え、努力実現を共通目標として全力奮闘を見つつけ、TPOで



高齢期を生きて

学んでいること



中小企業人財活性塾 代表 松本孝彦

◆プロフィール◆
 中小企業人財活性塾を主宰し、経営戦略計画、人事制度、管理職教育を進め業績回復とベンチャー企業の成長支援に取り組む中。

【モットー】
 ・絶対に利益を確保し、中小零細企業の存続と発展を実現する！
 ・4H「ホンネ・ホンキ・ホト・ハート」で取組む！
 ・従業員個々の成長なくして企業の成長なし、次の世代へ託す！
 ・転んだら起きろ！念じて努力すれば必ず花開く！

*学んだこと

後期高齢期に入ると平均寿命男性80・98歳、女性86

終わりに

合掌

失い救命救急センターに担ぎ込まれ、延命処置の瀬戸際となりました。

医療関係者の懸命の努力と連携で幸い一命は取り留めることが出来ましたが、7か月を超える入院生活は、対応している企業、家族をはじめ多くの方々にご迷惑をおかけしたことに、ただただ迷惑をかけたばかりの責任を感じています。人に対して健康第一と言いつつ、自身が実行していなかった結果でした。

この経験から、医療者が私を危機的状況から復活させようとする取り組みは、企業の命をつなぐ企業支援の姿勢と同じ線上にあることを学びました。まさに命を懸けた意識改革で、改めて真剣に企業支援を再開する決意となりました。

経営支援の提起にも 改革脱皮には抵抗感

改革する力にしてゆく。
 ・全員が課題を自分のこととして共感、納得し、自らの意志で行動を起こせるか！工夫と忍耐、鍵は相手への関心の深さ、思いが信頼につながる一貫した4H(ホンネ・ホンキ・ホト・ハート)の取組みと人間力を痛感！

2. 健康の大切さを本当に実感

企業支援に懸命に取り組む中、過労で体調をくずしました。進行中の課題を休むことはできず、無理を重ねているうちに、意識を

忘れてならない「相手が主役」

がつくりだす無形の力の大きさに感動しました。地域ボランティア活動に集まる人の笑顔はサービスする側が元気をもらいました。

*学んだこと

・健康は自分だけのものではない。家族を含め、健康維持を常に念頭において行動する。年齢と共に体力の衰えは出てくる。点検と予防、治療、フォローを生活の中に組み込んで過ごす。

・真剣な取り組みとは、4日に支えられる専門的な実力がある強さ、相手の人

・故人を含め多くの方々から親身に教えられた尊い気持ちに感謝と共に胸に刻む。

また、企業、大学など多彩な組織の責任者が定期的な集まる研究会に参加し、オフレコで専門性の高い意見に耳を傾けるのは、各界現場が直面している喫緊の問題と対応を学べる貴重な機会です。

*学んだこと

・率直な会話を楽しむ、喜び悲しみを共にできる親密さと離れていても心を通う文通は楽しいもの。

・過去を振り返り、謙虚な反省は自己発見と研鑽の場となる。

・啓発とは人から学び、人と接する気持ち、対応が変わること、日々新たな再構築

・転勤、役割をかき、多

・年を重ねるにいたるに、知らないことが増えるばかり、人生死ぬまで学ぶことを実感。

・この体験を通して、何事も「現(現場・現実・現状)に近づくほど、かわるる人の人間性と真実の姿が見えてくる。

3. 新たな人生の学び

生還させていただいた体験は、いままで関心の少なかつた人々の世界にこそが動き、介護のお手伝いをするために介護資格の取得と実践スキルを学びました。

4. 自己啓発の気づき

大病からの復活と介護現場から、経験と情性で生き抜くことの限界を知り、自分を見直す貴重な機会に感謝です。

考え至ったことの一つに、自分の経験や考え方を見直すことでした。サイドラインや感想が書き込んである本、放置してあるドキドキ、コメント類をもう一度見返すこと、日々新たな再構築

6. 余暇の楽しみ方改革

自由な時間を楽しむにしろ、人生の楽しみを充実させることと位置付けました。ほかの課題との折り合いや優先度調整は、それ自体楽しいカレンジャーを埋める作業です。目的を定めると自ら計画と配分が具体的に浮かんでいきます。

例えば、海外旅行については、母が子どものころ育った台湾の話をよく話していたのを思い出し、その場所へ行ってみよう。中小企業の責任者として存続を賭け、緊張の極度でとんぼ返りを繰り返した外国の街をゆつくり訪ねてみたいとも思っています。

郷里の実家管理や、墓詣に定期的な往復する折、小中学時代の友達や企業支援をともにしたスタッフと欲談する機会は明日への力が湧いてきます。

イタリアンのシェフが特別腕ふるってくれるのは自

7. 家長の役目と終局準備

現在の年齢と平均寿命をかきとると、実行すべきことと期限が見えてきます。長男として、祖先からの引き継ぎ課題、今後の生活の見込み、介護や施設入所の課題、住居の処置、相続、最終事態に至った時、夫婦それぞれ延命処置可否等の意思表示、等々を、エントディングノートにして「自分らしく、日本人らしく、家族と意見を交わし共有していきましょう。

計画や予定は変わって、最終現場でなるべく迷惑をかけないように意思を文書にしています。

*学んだこと

・言いたくないこと、言えないことを文書にして力のある有り様を全てであると思っています。

・沢山の良い思い出をもって天命に向かうことができ、幸せに感謝しています。

皆様私の失敗を反面教師としていただき、ご自分らしい誇りある希望に満ちた人生をお元気で進まれることをこちらからお祈りいたします。

・慢の行き付けの店で、親しい人たちの会食場所です、英会話や演奏会、など楽しみの発見を深めています。

*学んだこと

・自分たちの新たな時間を、ほかの課題と融合させると生活の充実度がまし、買い物や所用も工夫で楽しい時となります。

・行動目的をはっきりさせると結果の満足度を実感できます。

・家族とともに過ごす機会、親しい人たちと過ごす時を大切に！

現在の年齢と平均寿命をかきとると、実行すべきことと期限が見えてきます。長男として、祖先からの引き継ぎ課題、今後の生活の見込み、介護や施設入所の課題、住居の処置、相続、最終事態に至った時、夫婦それぞれ延命処置可否等の意思表示、等々を、エントディングノートにして「自分らしく、日本人らしく、家族と意見を交わし共有していきましょう。

計画や予定は変わって、最終現場でなるべく迷惑をかけないように意思を文書にしています。

*学んだこと

・言いたくないこと、言えないことを文書にして力のある有り様を全てであると思っています。

・沢山の良い思い出をもって天命に向かうことができ、幸せに感謝しています。

皆様私の失敗を反面教師としていただき、ご自分らしい誇りある希望に満ちた人生をお元気で進まれることをこちらからお祈りいたします。

・失い救命救急センターに担ぎ込まれ、延命処置の瀬戸際となりました。

医療関係者の懸命の努力と連携で幸い一命は取り留めることが出来ましたが、7か月を超える入院生活は、対応している企業、家族をはじめ多くの方々にご迷惑をおかけしたことに、ただただ迷惑をかけたばかりの責任を感じています。人に対して健康第一と言いつつ、自身が実行していなかった結果でした。

この経験から、医療者が私を危機的状況から復活させようとする取り組みは、企業の命をつなぐ企業支援の姿勢と同じ線上にあることを学びました。まさに命を懸けた意識改革で、改めて真剣に企業支援を再開する決意となりました。

介護は、売上、効率、利益を追い求めてきた私の経てゆくことの限界を知り、自分を見直す貴重な機会に感謝です。

考え至ったことの一つに、自分の経験や考え方を見直すことでした。サイドラインや感想が書き込んである本、放置してあるドキドキ、コメント類をもう一度見返すこと、日々新たな再構築

・故人を含め多くの方々から親身に教えられた尊い気持ちに感謝と共に胸に刻む。

また、企業、大学など多彩な組織の責任者が定期的な集まる研究会に参加し、オフレコで専門性の高い意見に耳を傾けるのは、各界現場が直面している喫緊の問題と対応を学べる貴重な機会です。

*学んだこと

・率直な会話を楽しむ、喜び悲しみを共にできる親密さと離れていても心を通う文通は楽しいもの。

・過去を振り返り、謙虚な反省は自己発見と研鑽の場となる。

・啓発とは人から学び、人と接する気持ち、対応が変わること、日々新たな再構築

・転勤、役割をかき、多

・慢の行き付けの店で、親しい人たちの会食場所です、英会話や演奏会、など楽しみの発見を深めています。

*学んだこと

・自分たちの新たな時間を、ほかの課題と融合させると生活の充実度がまし、買い物や所用も工夫で楽しい時となります。

・行動目的をはっきりさせると結果の満足度を実感できます。

・家族とともに過ごす機会、親しい人たちと過ごす時を大切に！

現在の年齢と平均寿命をかきとると、実行すべきことと期限が見えてきます。長男として、祖先からの引き継ぎ課題、今後の生活の見込み、介護や施設入所の課題、住居の処置、相続、最終事態に至った時、夫婦それぞれ延命処置可否等の意思表示、等々を、エントディングノートにして「自分らしく、日本人らしく、家族と意見を交わし共有していきましょう。

計画や予定は変わって、最終現場でなるべく迷惑をかけないように意思を文書にしています。

*学んだこと

・言いたくないこと、言えないことを文書にして力のある有り様を全てであると思っています。

・沢山の良い思い出をもって天命に向かうことができ、幸せに感謝しています。

皆様私の失敗を反面教師としていただき、ご自分らしい誇りある希望に満ちた人生をお元気で進まれることをこちらからお祈りいたします。